

生が加わっていれば、家族はもららん、会社や大学の友人、グループで利用できます。

施設利用一覧

屋外施設	テニスコート、サッカーコート、野球場、等 全施設無料
屋内施設	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球 照明の為に電気代等の実費負担(退社、クラス会、同窓会、 クラブのOB会、校友会会員のみでの使用の際は無料)

※ テニスコートについては利用頻度も高く今まで、在校生のクラブネットを借用していましたが、この度、テニスコートのネット代としてOB利用者より学校へ届けられていたご寄付と校友会より予算を合わせてネットを新しく購入し常備することになりました。

※ 施設利用については、一週間前迄に、学校(821-2051)宛、お申し込み下さい。利用ができるかどうかについては、利用日の二日前(生徒クラブ活動との兼ね合いのため)に学校受付より電話連絡があります。

校友会会員ご子息の聖光入試の実 態を調査について

現在、会員ご子息の在校生は、鈴木繁良氏(一期生)のご子息(J2)、三木英一氏(一期生)のご子息(J1)の2名です。聖光も、愈々、二世入学の時期を迎えたわけですが、卒業生子弟の受験生がどれ位、毎年あるのかについて、トマス校長先生も大変、関心を寄せられておられます。もし、ご子息が来春、受験されるようでしたら、最寄りの理事もしくは、トマス校長先生宛、あらかじめご連絡下さいませようお願いいたします。

校友主宰の劇団が公演！

—「横浜にゅうくりあ」(原谷渉氏(7期))—

横浜市中区山手町の山手ゲート座は今年で百年を迎えたが、7期生原谷渉氏の主宰するアマチュア劇団「横浜にゅうくりあ」が、同座で12月13日から15日までゲート座百周年記念の公演を行った。

原谷氏率いる「横浜にゅうくりあ」は、昨年九月旗揚げした、4期の古浜直樹氏も同座に参加している。これまで、横浜を舞台にしたオリジナル作品三本を上演してきたが、公演のたびに場所を変えなければならぬ「ジブシー生活が奮闘のタネ」であった。

新ゲート座は百周年記念の企画の一つとして、若くてエネルギッシュなアマ

劇団を物色しているとき、同劇団を見つけた。年4回、定期的にゲート座を活動の拠点にすることを条件に貸すことになった。

今回の上演作品は、原谷氏作・演出の「赤い靴」。校長先生も同劇を観賞され、「横浜にゅうくりあ」の情熱あふれる演技に感服しておられた。同劇団の今後の発展を祈りたい。

<公演についての問い合わせは劇団オフィス(041-321-1858)へ>

聖光学院校友会第3期役員紹介

名誉会長 T. Trenkly

会長 友田 進 (1)

副会長 清水良夫 (3)財善 高倉俊一 (3)広瀬

理事 谷口 洋 (1)事業 小管政義 (2)広瀬 大寺敬蔵 (4)財善

金子博人 (4)財善 石川隆司 (5)広瀬 花家 徹 (13)事業

工藤誠一 (11)

監事 吉川洋一 (1) 大隅多加志 (7)

事務局 工藤誠一 (11) 横内 誠 (15)

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

この度、校友会では、「校友会会報」を発行することになりました。この会報は、学校、校友に関する情報提供、校友同士の意見交換を主目的に、いわば学校と校友、あるいは校友と校友とのパイプ役としての使命を持ったものであり、この会報が校友間のコミュニケーションの活性化に少しでも役立てば、と考えております。

次号よりは福祉共済便り(校友の祝寿葬祭に関する記事)、校友の現状報告、同窓会のお知らせ、等を掲載の予定ですので、掲載希望事項がありましたら、校友会事務局まで、原稿をお送り下さい。校友諸兄よりの活発なる御意見、情報をお待ちいたしております。